

れるかです。そうなるためには、自分から奉仕しなくてはいけないと思うのです。私は、自分を磨くために大勢の仲間と接しながら、自分の出せる力を地域に還元したいと、若いころから地域のさまざまな団体にかかわってきました。今、市長でいるのも、その気持ちが根底にあるからなのかもしれません。それから、皆さんには、何でもいいので、趣味を持ってほしいと思います。たとえ、仕事に直接通じてなくても、行き詰まったときに救ってくれるはずですよ。これは、人生の先輩からの提言として、聞き留めてもらえたら嬉しいですよ。

「毎日」だからこそ感じる

まちの魅力 狭山

市長 皆さんは、狭山市のどんなところが好きですか。浅井さんは所沢市在住ですが、3年間、狭山市に通ってみてどんなことを感じましたか。また、逆に嫌いなところや、私に聞いてみたい疑問などはありますか。
山岸 友達と自転車で出掛けると茶畑や畑が広がっていて、のどかな景色が心を和ませてくれるのがとても好きです。でも、市内でも事故や事件

が増えてきたのが非常に残念なことだと思っています。

羽中田 学校の登下校中に見える山の景色などがとてもきれいで、狭山が「いいな」と思います。自然を身近に感じられるところが好きです。嫌いなところなんて考えたこともないので分かりません。気になってるのは、最近言われている合併のこと…人間市と協議を進めていますよね。友達とも少し話題になります。

山山 私の学校の前にも茶畑があった、木や森などの自然が残っているのが好きです。逆に、嫌いというか困っているのが、街灯が少なくて夜になると暗い道が多いことです。友達とそんな話がよく出るんですよ。

浅井 私は所沢市の山口から自転車高校に通っていますが、狭山のことで強く印象に残っているのが、通学途中にある大きな桜の木です。春になるとその光景は圧巻で、風が吹くときはまさに桜吹雪、わざとその中を潜りたくくなります。また、「七夕まつり」も好きです。友達がクリーンボランティアとして参加しましたが、そんなボランティアの活躍で、ごみのないきれいな祭りができることは、訪れる人にもいいことだと思えます。

反対にあまり好きでないのが、裏道に入ると自動車がすこいスピードを出して危ないということです。

市長 自転車通学だと、交通事情は特に気になるでしょうね。歩行者にも自転車にも、優しい運転を心がけてほしいものです。

です。皆さん、共通しているのが、狭山の自然が好きなことですね。これは、私も同感です。市内に残る緑を多くの市民にも大切にしてほしいと思っています。

暮らすまちへの愛着

私たちの考えるまちの将来

市長 さて、先ほど合併の話が少し出ましたね。皆さんもご存知のように、今、狭山市は人間市との合併について協議しています。さまざまな意見がありますが、変化するとき、よりいいものを求めるときには、超えなくてはいけないハードルも高くなる



皆さんも将来、結婚という人生の節目を迎えることでしょう。結婚はメリット・デメリットで決めるものではありません。いかに相手と信頼し合えるかが大切。合併も通じる部分があると思えます

でしょう。今のままで居続けること…果たしてそれでいいのでしょうか。メリットもデメリットも、一直線上にあると私は考えているんです。昔の人がそうであつたように、後世のことを考え、先を見て、物事を考えなくてははいけないと思っています。では、まちの将来

について何ってみましょう。20年・30年後の狭山市は、どんなまちであつてほしいですか。

羽中田 ひとことと言つたら、福祉が充実したまちになってほしいと思います。私の祖父は障害者を持っていて、現在、市内の施設で暮らしています。祖父にとっては充実した生活のようです。そんなふうの高齢化が進んでも、だれにでも優しいまちであつてほしいです。例えば、地域のみんなで高齢者をみたり、中高生のボランティアを募って、高齢者とのふれあいの機会を作ったり…中高生にとっても、高齢者とのふれあいは貴重なはずです。そんなふれあ

市長新春座談会



狭山稲荷山公園には、四季折々の景色が楽しめる自然が残っています。皆さんの子どもや孫にもこの素晴らしい自然を残すため「今、何ができるか」を考えていきましょう

山岸 東京にも近いから…このまま住み慣れたまちですか
山岸 東京にも近い

の溢れるまちになってほしいです。
市長 ありがたい意見ですね。市の財政状況を考えると、財源となる歳入はこの10年でほぼ変わっていないのに、福祉にかかるお金はとも増えているんです。もうお金だけに頼るのではなく、みんなで力や智恵を出し合って、手助けをし合う意識で福祉を充実させていかななくてはいけないと考えています。市内でもそういった意識は着実に芽生えています。が、高校生の羽中田さんからそのように言ってもらえると、とても嬉しく思います。浅井さんはどうですか。

と思います。子どもも年齢はちょうど今の自分くらいだとうつと。そのときに、今の気持ちを思い出して子どもに接し、子どもを理解してあげられるようになっていきたいと思います。
山岸 私は、自然が残るまちであってほしいです。新狭山駅前のように、電柱や電線をなくせば、自然と都市的な部分がさらに調和できるのではないのでしょうか。
山岸 私も同じです。今、市内にある自然を残してほしいと思います。あと、入曽の駅前の道が狭いので、もっと整備してもらえたら嬉しいですね。

ので、社会人になっても住み慣れた家から通勤したいですね。
市長 皆さん、とても嬉しいことを言ってくれました。狭山市への愛着がある点では私と同じです。これからも、皆さんが快適に住めるまちづくりを進めなくてはいいけませんね。
地域から広がる元気
私たちにもできることから

一緒にする中で、自分も地域の一員になったような気持ちになりました。
市長 昨年の水野の森クリーン作戦では、入間中の生徒さんもボランティアで参加していましたね。そういった地域のイベントに参加して、これから地域の人たちとの輪を広げていってほしいと思います。
山岸 私はジュニアリーダースクラブに所属して、かるた大会のボランティアなどをしていました。3年生になつてからは忙しくなりましたが、あまり参加していません。でも、楽しい経験ができたので、また時間を作って続けていきたいと思っています。
市長 ありがたいございました。今日お会いした皆さんが、今の狭山市を、そして将来の狭山市を思ってくれていることに感謝します。「元気な狭山をみんなで作る」…地域の元気は、狭山の元気につながっていきます。自分の隣近所を含めた「地域」をどうぞ大切にしてください。そして、将来のために、何をすべきかを考え、それを実現させるためには、いろいろな意見を取り入れて市の事業に反映させなくてはなりません。市民皆さんからお寄せいただき、私の提案「…ぜひ今後、皆さんの声をお聴かせください。今日は、大変ありがとうございました。」

皆さん、少し近い未来…10年後も自分が狭山市に住んでいると思いますか。
羽中田 私の場合は家族が住んでいますし、狭山市で過ごしている時間が一番長いので、できればずっと居たいです。
山岸 私にとって住み慣れたまちですから…このまま住み慣れたまちか
山岸 東京にも近い

そんな先生方を見ていると、何もしないではいられなくなって…もちろん、校内では元気にあいさつをしますが、外ですれ違ふ人にも会釈はするようにになりました。
羽中田 今は地域とかかわっていませんがボランティア活動に興味があります。私の高校は社会福祉部という部活動があるので、掛け持ちで入部してもいいかな、と思っています。
山岸 私は昨年、学校で行った資源回収のときに、地域の方に協力をいただきました。集めた資源物を車に積んで運んでもらったり、作業を

問合せ 広報課へ内線7161